

平成21年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	9.教育費	事業名	1.教育研究活動費		
項	1.教育総務費	細事業名	4.学校図書館活性化		
目	3.教育研究指導費	担当課・係	指導課	(執行課: 指導課)	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位:千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	10,080	要 求									10,080
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/学校で楽しく安心して学べるまちづくり/学校図書館の利用を増加させ							
	【学校図書館の充実に関する業務】	施策体系コード	03-02-01-40-10			事業番号	231-1			
	学校図書館において蔵書の整備・電算管理、貸し出し業務等を行い、図書館利用を学習指導に活かしたり、図書館利用の促進を図ります。また、朝の読書のサポートを行います。	総事業費	46,017千円				事業期間	平成18年度～平成22年度		
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度			
			7,450	8,327	10,080	10,080	10,080			
(事業実施に関する根拠法令)										

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 11名の学校図書館司書を各中学校区ごとに派遣し、各学校図書館の活性化を図り、学校の司書教諭等と連携して、児童生徒が読書に親しむ環境を整える。	(事業の目的) 児童・生徒の読書離れが著しいなか学校図書館司書を配置することで読書離れをくい止め、読書の楽しさや調べ学習の方法を知ることにより、生涯にわたって学習する力を身につけさせることを目的とする。	(事業の効果) 学校図書館司書を配置することで、図書の貸出冊数が増加し、読書離れがくい止められている。また、図書館の図書の整理・整備をはじめ、図書館の環境も充実し、授業等での図書館の利用頻度が高まった。
(事業実施上の問題点) 佐倉市内小中学校34校中11校の配置ができるようになった。各中学校区に1名の配置ができたことで、子どもたちの学校図書館利用率や貸し出し冊数が増加した。新学習指導要領の趣旨に沿うためにもさらなる読書力を向上させる必要がある。	(前年度からの見直し点) 現在、11名の学校図書館司書を配置しており、各学校年間40～50日間の予定で対応している。さらに小中学校の連携を進めていく。	(見積についての特記事項)